

説明会での代表的な質問と回答

JR 南武線 連続立体交差事業に関する用地測量説明会

平成30年6月14日から町内会ごとに開催した用地測量説明会で、皆さまからいただいた質問のうち、代表的な質問と回答をお知らせします。

○事業内容について

1. 工法はいつどのように決めたのか？

仮線高架工法、直上高架工法、地下直下工法の3案を、地域勉強会、地元説明会において示し、ご意見をいただき、さらに、有識者からの意見等を踏まえまして、「①事業費が最も安価 ②横浜市域を含めて尻手駅から武蔵小杉駅間にある13の踏切をすべて除却できる ③移転が必要となる買収対象建物が約400戸と最も少なく周辺へ与える影響が少ない」などの理由から、南武線西側に仮線路を設置する仮線高架工法を採用する方針とし、平成29年の11月に公表しました。

2. 今後のスケジュールは？

平成32年度中の都市計画決定を目指し、用地測量、概略設計、環境影響評価調査を今年度から3年かけて行います。

また、都市計画決定後、事業認可を受け用地買収に着手する予定です。

連続立体交差事業の延長は、全体で5.5km（川崎市域：4.5km）あるため、用地買収には長期間を要すると考えられます。そのため、工事開始時期については、用地買収が進み、工事施工範囲がある程度確保できた後からとなるため、皆様へは開始時期等が決まり次第、情報提供をいたします。

3. 横浜市域については？

横浜市域となる尻手駅～矢向駅間について、川崎市域の高架完成時期と合わせて整備する方向で、横浜市と協議している状況です。

4. 高架の高さはどれくらいになるのか？

高架の高さは、場所により異なりますが、レール高さは、地上から 7m~8mの位置となり、側壁の高さを含めると 9m~10mとなります。

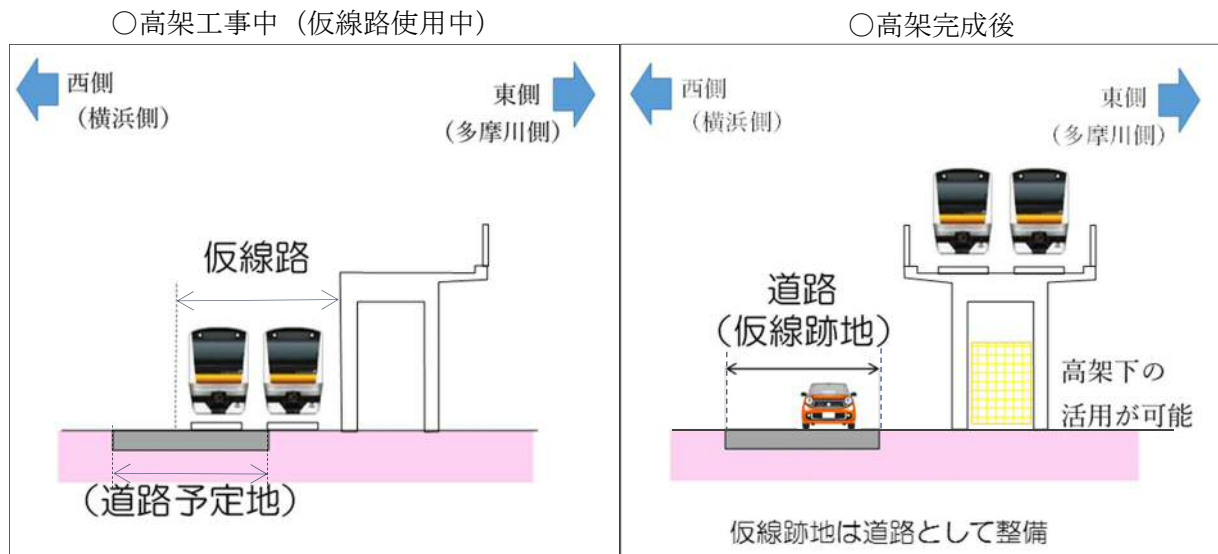
また、鹿島田駅付近は既存の歩行者用デッキがあるため、デッキ高さを考慮し、レール高さが地上から 12m~13mの位置となり、側壁の高さを含めると 14m~15m程度となります。

5. 仮線路跡地に整備する道路の幅は何mくらいか？

仮線路跡地に整備する道路の幅は、場所によって異なりますが、矢向鹿島田線の範囲（矢向駅付近から平間駅付近）は歩道を含めて 15mの幅員で整備することとなります。

（*幸区小倉のパークシティと南武線の間部分的に整備済みの道路幅が、矢向鹿島田線の最終整備道路幅と同じ幅となっております。）

平間駅付近から向河原駅付近までは 10mの幅員で道路（歩道含む）を整備することとなります。



6. 高架下の利用方法は？

連続立体交差事業後の高架下の土地については、全体の 15%に相当する面積が市で活用できることになっております。

地域勉強会などで高架下の利活用について意見交換を行い、地域の利便性が向上する機能や分断されていた市街地の活性化に寄与するような施設の整備を行うために、これら高架下の活用も含めた、まちづくり整備方針を策定する予定となっております。

○測量について

7. 測量の立会いは土日にもしてもらえるのか？

原則は、平日の月曜日から金曜日の間で、8:30～17:00の間でお願いしています。どうしても、都合の悪い場合は、個別に調整いたします。

○事業範囲について

8. 用地買収はいつから始まるのか？

現在、平成32年度中の都市計画決定を目指しており、用地買収は、都市計画決定を受け、事業認可後、すみやかに用地買収に着手してまいります。

9. 所有している土地の一部だけ用地買収されるようだが、残った土地についても、市で買収してもらえるのか？

原則は、事業で必要となる土地だけをお譲りいただくこととなります。しかし、残地に関しては物件ごとに状況は異なるため、利用価値の著しい減少等による利活用が困難な場合や、土地所有者様の生活再建上支障となる場合は、市で取得することを検討する場合もございます。

○その他

10. 今後の説明会の予定は？

平成32年度の都市計画決定を目指しており、今後、都市計画素案説明会・環境影響評価説明会を予定しております。詳細につきましては決まり次第御案内させていただきます。

また、オープンハウス型説明会を、幸区・中原区において実施しております。今年度は幸区で、9月2日（日）、3日（月）に開催いたしました。また、中原区では、平成31年3月中旬に予定しており、詳細が決まりましたら、ホームページや回覧版などで御案内させていただきます。

その他、様々なご意見をいただいておりますので、いただいたご意見は、事業を進めるうえで参考にさせていただきます。

<連絡先> 川崎市 建設緑政局 道路河川整備部 道路整備課

TEL 044-200-3499